

令和4年度の重点課題

意識

○体育の授業が楽しい、やや楽しいと答えた児童の割合が97%であった。
○運動やスポーツに関する肯定的な回答が多く、この数値が体育の授業に対して肯定的な考えをもつ児童の数とほぼ合致していることから、体育の授業が、運動を好きになる機会として重要であると考えられる。

→肯定的な考えを維持するために、体育の授業内容の充実が課題

体力

○男子

・「握力」「50m走」「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値を下回っている。

○女子

・「握力」「上体起こし」「50m走」「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値を下回っている。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

①体育科での取組

昨年に引き続き、サーキットトレーニングを全学年で取組んだ。加えて、各領域に合わせた準備運動に代わる「セットメニュー」を導入した。

②体育科以外での取組

体育委員会が主体となり、楽しみながら体力の向上を図る「体力向上委員会」を実施するとともに、体力向上への児童の意識を高める活動を行った。また、縄跳び練習台を3台追加した。

③家庭学習（長期休業等）での取組

長期休業中などでは、家の中や、家族でできる運動（おうちトレーニング）や、縄跳びの課題を出し、目標をもって自分で運動できるように取組んだ。

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	13.67	18.63	35.75	44.06	53.54	9.48	154.98	22.89	54.41	第5学年	13.92	17.92	35.84	39.80	38.73	9.84	140.50	14.27	53.75

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	13.67	18.63	35.75	44.06	53.54	9.48	154.98	22.89	54.41	第5学年	13.92	17.92	35.84	39.80	38.73	9.84	140.50	14.27	53.75

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	68.75	22.92	2.08	6.25	第5学年	40.00	28.00	20.00	12.00

学校独自の意識調査

	楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
体育の授業は楽しいですか？	65%	25%	7%	3%
運動やスポーツをどのくらいしていますか？ (体育の授業を除く)	週に3日以上	週に1～2日	月に1～3日	しない
	36%	40%	13%	11%

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- セットメニューを充実させる。
- ・各運動の領域に合わせて、アクティブチャイルドプログラム(※1)を取り入れたセットメニューを実施する。
- ※1 発達段階に応じて身に付けておくことが望ましい動きを習得する運動プログラム
(体づくり運動、器械運動、走跳の運動、表現運動、ボール運動)
- ・主運動につながる楽しい補助運動を行う。
- 運動が楽しいと思える授業を実施する。
- ・単元との出会わせ方の工夫を通して、児童がやってみたくと思える授業を行う。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・体育委員が「体力向上委員会(※2)」を企画し、児童が主体となって、楽しむことを通じて、体力の向上を図る取組を実施する。
- ※2 体力テストの結果を受けて、校内や中庭、校庭遊具を体力向上委員会会場として設定し、休憩時間を使って取組を行う。
- 「握力」「立ち幅跳び」「反復横跳び」を主な内容とし、期間中にそれぞれの項目において自主的に参加できる機会を設定する。
- ・「走り方教室」や「持久走教室」を実施し、運動を楽しむことができる機会を設定する。
- ・長期休業中の課題として、学年の実態に応じた運動の機会を設ける。
- ・セットメニューや運動器具の使用について職員研修を行い、知識の共有を図る。
- ・単元との出会わせ方の工夫を教諭が研修する。

令和6年度の重点目標値

- 運動やスポーツが好き、やや好きと回答する児童の割合を、男子90%以上、女子68%以上とする。
- 体育の授業が楽しい、やや楽しいと回答する児童の割合を90%以上とする。